



国際ロータリー会長
ジョンF.ジャーム

Nagai Rotary Club



長井ロータリークラブ



Weekly report

長井ロータリークラブ会長	高橋 勇喜知	第2800地区ガバナー	長谷川 憲治
長井ロータリークラブ幹事	齋藤 圭 央	第6ブロックガバナー補佐	今 良明
パストガバナー	渡部 保太郎		
例会日	毎週火曜日 12:15~13:15	例会場	タスパークホテル TEL0238-88-1833
事務局	長井商工会議所内 TEL0238-83-2047	会報委員	大道寺 信・大滝 徹・浅野敏明・土屋茂樹

URL: <http://www.nagai-rc.jp>

E-mail: info@nagai-rc.jp

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か

3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

平成28年8月2日(火曜日) 第2,672回

【月間テーマ】 会員増強と拡大

<例会報告 NO.5> 会員卓話 齋藤喜内会員

☆会長挨拶 (高橋勇喜知会長)



昨日山形新聞に、置賜地区のロータリーの役員紹介の記事が掲載され、10人ぐらいの方から電話や話がありました。また、役員を引き受けたのかという話でしたが、ロータリーは1年毎の交代で楽勝だともいいましたけれども、なんでも引け受けるのが私のいいところでもあり、悪いところでもあると思っていますが、大変だなあとってくれる人もおりました。これも一つの試練とも思っておりますので、宜しくお願いします。さて、先日相模原の障がい者施設でとんでもない事件が起きました。テロではありませんが、震撼した事件だと思っています。私の次男も知的障がい者で他人ごとではないなと思います。ニュース等々で管理の問題と取り上げていますが、根幹として触れなければならないのはなんで良い青年がああいう事件を起こしたのかではないかと思っています。私の想像ですが、多分学校の先生

の息子として何不自由なく、甘やかされて育って、大学でいろんな遊びを覚え、教員試験で生まれてはじめて挫折を味わって、その挫折からの逃避として、悪い方向になっていったのが原因ではないかと思っています。そこまでは悪くならないが、今の若い人は苦勞を知らないで育っているの、なるべく親の苦勞を見せていかなければならないと思っています。大なり、小なり素直すぎて、可愛すぎて、これから大変な時代が来るのかなと心配しているところです。新入社員に靴の脱ぎ方を教えなければならぬのも事実ですので、ロータリーも青少年奉仕の一つの柱にしていますので、形式的な取り組みではなく、そういったものも取り上げ、社会貢献につなげることも必要と思います。

☆幹事報告 (齋藤圭央幹事)

- ・第5回理事会を開催し、9月のプログラムを承認しました。
- ・8月のロータリーレートは102円となっています。
- ・美しい山形クリーンアップキャンペーンの実施案内がきております。
- ・8月27日第5、6ブロック職業奉仕セミナーが開催されます
- ・インターシティミーティングの出欠確認をお願いします。
- ・10月9日地区大会が開催されます。

☆委員会報告

- ・プログラム委員会 塚田弘一委員長
9月のプログラムが報告された。
- ・ロータリー情報・ICO広報委員会 前田昌信委員長
ロータリーの友8月号の見どころが紹介された。

<ニコニコ BOX>

- ・高橋勇喜知 会長
喜内さん、今日よろしくお願ひします。私に対してもっと、もっとご指導ください。
- ・塚田弘一 会員
喜内さんには、商工会議所ともどもお世話になっています。
- ・奥山智孝 会員
喜内さんに敬意を表して
- ・五十嵐順子 会員
喜内会員に敬意を表して
- ・齋藤喜内 会員

<ご本人誕生日>

- ・前田昌信 会員 24 日
- ・塚田弘一 会員 3 日
- ・大山友規憲 会員 17 日
- ・齋藤慎治 会員 16 日

<奥様誕生日>

- ・那須 修 会員 17 日
- ・齋藤慎治 会員 27 日

☆会員卓話 (齋藤喜内会員)



- ・今日は、立場上会員増強について卓話をさせて頂く。
- ・ロータリーが誕生して 111 年立つ訳で、それぐらい続いていることは、価値があるということになる。私が入会するときはどういう団体かと聞いた時には、入ればわかるということであった。少したってからの同じ質問には奉仕団体だということだった。
- ・それぞれ経営しているが、一番なのが仕事の中でどういう形になるかについては、社会貢献、役に立っているかであり、それが少しづつわかってきたのがロータリーではないかと思う。
- ・基本的には、出会い、ふれあい、関わりであると思う。出会いは世界人口 73 億、日本の人口 1 億 2 千万の中で出会える人はほんの少ししかいないわけで感謝すべき。ふれあいは友情であり、ロータリーでは志を持った友が本来の仲間である。

企業は利潤の追求ではなく、目的はそれを循環して社会に還元することであり、そういった意識を持っていただけるのもロータリーであると思う。

- ・奉仕は、ボランティアとは違う。ボランティアはあくまでも自発的な行為で、お金がかからないものであるが、今後自分たちのサービス（奉仕）のあり方が問われるのが、そういう意識をもっていられるところがロータリーではないかと思う。それには、役職を経験をすることも大事ではないか。
- ・楽しいロータリーとは、いろんな人の話を聞いて、自分にないものを聞く機会を持つこと、新しい発見をすることであり、例会にきて聞くことも大事なことでないかと思う。
- ・良い会社の定義は、良い商品とサービスを通して社会貢献すること、一緒に働く中間のことを考えること、高収益を上げるころである。良い仕事とは、自分たちが考える発想であり、一緒に働く仲間のためにやることである。そういうことがロータリーで学んだことである。
- ・せっかく縁があつてロータリーに入っているので、仲間意識をもって、ふれあいの機会を多くするようなことも考えていく必要である。
- ・会員増強を進めるには、もう少し入会を勧める際のもっとも知っていただく必要がある。価値観が違ってくるし、ロータリーを高い価値観に高めていくことになる。私たち評論家ではなく実践者であるので、そのことを踏まえることも必要である。また、ロータリーのことを市民の皆さんにもっとしていただく必要があると考える。

☆規定審議会の内容 (横澤俊彦会員)

- ・2016 規定審議会の内容と対応についてのポイントの説明を受けた。
- ・今後、クラブとしての具体的な検討を理事会で行い、例会で確認していく予定である。

☆次回例会予定

清掃活動 (6 時～)・早朝例会 (7 時～)

☆出席報告

8 月 2 日 例会 報告者： 大滝徹 会員

	会 員 数 (免 除)	出 席 数 (免 除)	出 席 率	MU 数	修 正 出席数	修 正 出席率
本 日	28(2)	22(2)	78.5 7%			
前 回 (7/26)	28(1)	20(1)	72.4 1%	2	23 (1)	79.31 %
前々回 (7/19)	28(1)	20(1)	71.4 3%	3	23 (1)	82.14 %